



今回は子どもが自由に遊べて親同士の交流もできる新しいタイプの図書館が磐田市にオープンしたので紹介します。

図書館が好きで、よく通う。気になった本は、ほとんどネットでリクエストして、借りる。春野の図書館には家から車で7分。木質空間で、落ち着いてありがたい。図書館の前の施設には、広いお風呂にサウナがある。これもありがたい。

ところがだ。子どもを連れていくと、はしゃいで走り回ってみなさんの迷惑になる。注意しても、なかなか子どもは難しい。同じ年の子がいたら、これまた大騒ぎになったりする。その度に注意するのもエネルギーがいる。[SEP]

-----  
子どもが騒げる遊び場兼図書館があるといい。親が本を読めて、こどもがわいわい遊べる空間が一体になった施設があるといい。お母さんたちはおしゃべりができる。そして、絵本やら児童文学がたくさんある。そんな図書館が理想的。駐車場もたくさんほしい。

しかし、まあ地方には無理かと思っていた。[SEP] そうしたら、あった。浜松市の隣の磐田市に昨年オープンした、「ひと・ほんの庭 にこっと」だ。

靴を脱いで、遊べる多目的エリアが広い。いろいろなおもちゃがある。もちろん授乳室もある。子どもたちは自然と友だちになって、一緒に遊べる。親はその近くでリラックスして読書したりお喋りができる。

-----  
図書館司書、保健師、保育士がいるので、本のこと、子育てのことなど相談に乗ってくれる。絵本も児童図書が3万冊はありがたい。

[SEP] 芝生の広場の庭にも出られて、柵があって子どもが勝手に飛び出していけないようになっている。[SEP] ソウさんの滑り台がある。親は、テーブルの上で子どもたちを見守りながら読書とお喋りができる。

また、自動販売機やポット、電子レンジがあつたりと、ゆっくり飲食できる。離乳食や赤ちゃんのミルクを作っても大丈夫。

-----

もちろん、大人が静かに本が読める場もある。自習室も、講座の和室もある。天文体もあるようだ。となりの施設では合気道や杖道、ヨガなども教えてくれる。なんとまあ、ありがたい場だ。

-----  
[L] [SEP] 図書館というのは、たくさんの蔵書があり、本を貸し出して、読むのが本義。が、いま求められているのは、情報発信の拠点だ。人と人との出会いの空間。

とくに、小さい子がいる場合、子供同士が自由に遊べて騒げて本が読める、多目的な自由な空間が、全国にできていくといいと思う。そこで軽トラの朝市やイベントがあってもいいと思う。

※「ひと・ほんの庭 にこっと」磐田市磐田市上新屋304 TEL 0538-36-1711 オープン：9時30分～18時00分、休館日毎週月曜日・第4木曜日。

浜松市北部生きがい特派員 池谷

